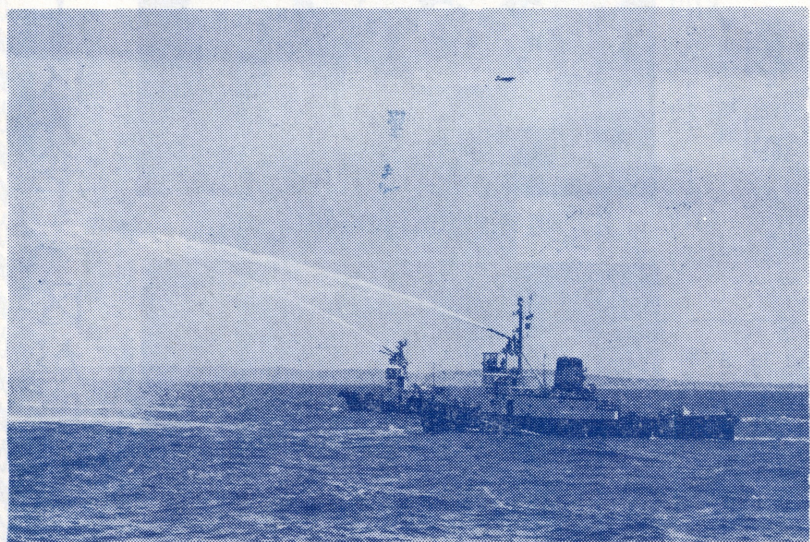


海上防災訓練 終る

第11管区海上保安本部



海上での原油火災を想定しての消火訓練、6隻が一斉放水

原油流出事故を想定して!! 油回収、油火災消火、人命救助に主眼

八月二十二日午前九時半から中城湾内で第十一管区海上保安本部（大沢英一本部長）の海上防災訓練が行なわれた。

大型タンカーによる海上災害が発生した場合を想定し、応急的諸作業の訓練が行なわれた。そのことにより防災体制の確立と油濁防止思想の高揚を図るのがねらい。

訓練参加機関は、海上保安庁、海上自衛隊沖繩基地隊、沖繩流出油災害対策協議会、消防機関、金武中城港流出油防除協議会、沖繩流出油処理事業協議会など。

訓練海域は、知名崎燈台から七キロメートルの地点から半径二キロメートルの円内。

訓練には同保安本部の隊員など総勢百四十九人が参加した。

監視船おきなわ（三〇九トン）

を本部として機動艇、監視艇、油回収船、作業船、タグボートなど二十一隻のほか、事故発生現場の写真撮影、情報伝達のため航空機「機が出動した。」

午前九時四二分、大型タンカーA丸（六万総トン）が貨物船B丸（三千総トン）と接触、サイドタ

南部消防操法大会終る

東部消防西原分団、応用操法で優勝

南部消防協議会（伊集盛郎会長）では、八月二十五日午後一時から知念中学校グラウンドで消防技術の向上と士気の高揚を図るため第十一回南部消防操法競技大会を開いた。

参加団体は、那覇消防団、糸満消防団、東部消防団、豊見城消防団の五チーム。競技種目はポンプ車操法、小型ポンプ操法、応用操法、着装競技の四種目。スピード、節度、操作手順などの優劣により採点された。

審査員、記録計時係を前にして各



応用操法で優勝した団員

南部消防協議会（伊集盛郎会長）では、八月二十五日午後一時から知念中学校グラウンドで消防技術の向上と士気の高揚を図るため第十一回南部消防操法競技大会を開いた。

参加団体は、那覇消防団、糸満消防団、東部消防団、豊見城消防団の五チーム。競技種目はポンプ車操法、小型ポンプ操法、応用操法、着装競技の四種目。スピード、節度、操作手順などの優劣により採点された。

審査員、記録計時係を前にして各



医師による老人の診療

一般と老人の健康診断 実施される

八月二十一日から九月九にかけて十五日間、各地域の公民館、事務所などにおいて村住民課と村農協による巡回の一般健康診断が行なわれた。同時に村福祉課による老人健康診断も行なわれた。

村役場では、パンフレット配布により受診呼びかけをしたが、受診者は少ない。できるだけ多くの老人に健康診断を受けてもらい健康で明るく豊かな村づくりをというのがこのねらいである。

また老人健康診断については、六十五歳以上の方を対象に各人に文書で通知したのですが、受診率が四〇〇程度である。村福祉課職員も「もっと多くの老人の方々が受診してもらいたいですね。第一無料ですから」と語った。

一般健康診断の検査項目は、身長、体重測定、血圧測定、尿検査、貧血検査、検便、胸部レントゲン等。老人健康診断の場合、以上のものに医師の診察が加わる。巡回健康診断の形をとり、医師はじめ臨床検査技師、X線技師、村役場職員、村農協職員が健康診断に当たるため、受診はしやすい。ちなみに他市町村に比べても本村の受診率は高い。今後益々受診率を上げるよう村力を入れておりますが村民の皆様方にも、進んで健康診断を受けるようお願い致します。

本村の青年二名中国へ

昭和五十三年度日中友好「九州青年の船」の一般団員として字我謝六五五の喜屋武哲治さん（25才）と字翁長五二二の与那嶺義雄さん（24才）の二人が九月七日から二十日までの日程で中国の北京（四日）と上海（三日）を訪問することになった。九州八県から三四八名の青年が参加する。

一行は、中国の史跡や教育、文化施設、農業（人民公社）、病院、工場などを参観する。また、中国青年との交歓も行なわれる。

今回の「九州青年の船」は、沖縄県が担当県であり、出港、帰港とも那覇港となる。北京は十日から十三日、上海は十六日から十八日の滞在となる。



発行所
西原村役場
電話(09894)⑤-5011~3
印刷
西原印刷

村の世帯・人口	
(昭和53年7月末日現在)	
世帯数	3,599世帯
人口	15,127人
男	7,711人
女	7,416人
7月の人口移動	
出生	21人
死亡	4人
転入	86人
転出	41人
婚姻	5件
離婚	2件

繁さん、喜屋武哲治さんの団員三名（村役場職員）が出場し、三六秒六の好タイムで堂々優勝した。ちなみに昨年の県大会の記録と同じという。日頃の訓練の成果があり、本村にとってはじめての優勝となった東部消防西原分団長の呉屋清さんは、「これまで実現できなかっただけに本当にうれしい。今度は県大会で良い成績をおさめますよ。」と喜びを語った。	
大会成績は次の通り。	
▼応用操法	
一位 東部消防	三六秒六
二位 糸満市消防	三八秒六
三位 那覇市消防	四〇秒八
▼ポンプ車操法	
一位 那覇市消防	五三七点
二位 豊見城消防	四八九点
三位 東部消防	四八五点
▼小型ポンプ車操法	
一位 那覇市消防	二四五点
二位 東部消防	二四二点
三位 糸満市消防	二三七点
▼総合	
一位 那覇市消防	二五二点
二位 東部消防	一八二点
三位 糸満市消防	一七二点

第3回 小学生各区対抗排球大会終る

青少年健全育成協議会（宮平吉太郎会長）では、八月二十三日午前九時からスポーツを通じて、連帯意識や友情を深め、健康で健全な精神を育成しようと第三回小学生各区対抗排球大会を開催した。

今年は、男子ハチーム、女子二チームの参加によるトーナメント戦。ルールは九人制バレー。会場には、チビっ子の大会とあって父母など多数が詰めかけ、盛んな声援を送り、にぎわった。

熱戦の末、男子は十区と六区、女子は一区と十五区で決勝戦が行なわれ、男子は、2対0で十区、女子は、2対0で一区が優勝を飾った。

男子一回戦

11区 2-10 8区
10区 2-10 12区
6区 2-10 13区
▼男子準決勝戦
10区 2-11 11区



男子優勝10区(兼久)チーム



女子優勝1区(幸地)チーム

▼男子決勝戦
10区 2-21 11区 1914 0 6区
▼女子一回戦
1区 2-10 12区
2区 2-10 11区
5区 2-10 6区
10区 2-10 4区
▼女子二回戦
1区 2-10 12区
15区 2-10 10区
▼女子決勝戦
1区 2-10 8区
15区 2-10 10区
▼女子準決勝戦
10区 2-11 7区
1区 2-12 7 0 15区

これが最後のチャンスです

農業者年金に参加しましょう

農業者年金事業は、一定の要件を満たす農業者を被保険者とし、被保険者が老齢に達して経営移譲をした場合に保険料を納めた期間に応じた経営移譲年金を六〇歳から（その後に経営移譲をしたときはそのときから）支給するとともに、六五歳以後は農業者老令年金と経営移譲年金の十分の一の額が支給されます。

農業者年金には、全国で現在一二万人が加入し五万人余の人がすでに経営移譲年金を手に入れています。（西原村の場合加入者が九十八人、すでに経営移譲年金を受け

男子十区女子一区が優勝

訪問販売の苦情について

一月生まれの人）にとって二度と期待できない絶好の加入のチャンスです。

この機会をお見のがしなく年金

近年、経済活動の多様化により各種商品の訪問販売が盛んになってい

しかし、これら訪問販売において、セールスの方法が強引で詐欺的であったり、販売条件が不明確にされたりすることによる消費者の受ける被害は後を絶ちません。

最近、県下各地で朝鮮人参エキ

健康食品は、効果や効能を誇張して販売する事例が見受けられるが、かかる場合は、薬事法上の医薬品として、その製造、販売、品質、表示、広告等について、必要な規制を受ける。

薬効を標榜する健康食品について

健康食品と称されているものは、通常食品に属しているものに

消費者米価の値上げについて

本土における今年度の消費者米価は、据え置きになります。が、本県における消費者米価は現行の包装費を含む10キロ当り一、七二〇円から一、八六五円に改定さ

住宅統計調査にご協力を

五年に一回実施される「住宅統計調査」が十月一日、全国いっせいに

この調査は全国の約五百万の住宅・世帯を対象とした「住宅の国勢調査」といわれるもので、みなさん方の住宅や世帯の構成など、四十二の項目について調査が行な

住宅政策を進めるうえでの基礎資料となります。

九月二十四日から三十日までの間に、都道府県知事が任命した調査員が、各家庭を訪問し、調査票

中頭地区青年国内研修に

本村からも青年一名が参加

中頭地区社会教育主事協会では、九月三日から九日にかけて中頭地区の青年リーダーとしての資質の向上と団体活動の振興を図る

一行は、佐世保で社会教育施設や文化財などを見学するほか、島原市青年団や佐賀市青年団との交流会を行なう。佐賀県でも社会教育施設等を見て回る。

西原浄水場第三期工事の安全祈願祭行なわれる

西原浄水場（字小那覇）では、七月二十五日午前十時から第三期土木工事の安全祈願祭が行なわれた。村役場からも平安助役が出席した。

西原介輔診療所

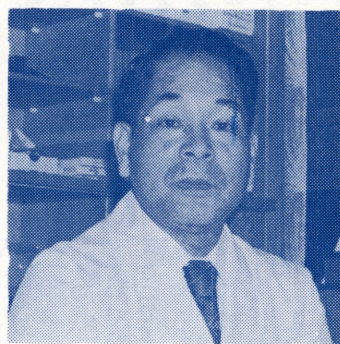
野原ひろかず

字小那覇六三八番地在西原介輔診療所(野原廣和医介輔)では、本村に診療所を開所して満九年を超え、村民からも親まれ、何でも話し会える先生で評判が高い。

診療に来る人は、老人、子供が多く、老人の場合、高血圧、神経痛、子供の場合、気管支炎、急性腸炎等の病気が多い。村内の老人にとって便利な場所に位置しており、安全で気軽に治療できる点で特に老人の方々から喜ばれている。二月から三月にかけて、かぜが流行すると診療所はたちまち一杯となり玄関先に列ができる程である。

野原先生のバイタリティあふれる親切丁寧な問診は、患者に安心感を与え、村民からの信頼も定着した。仕事のモットー

本村で開所して10年目



本村への診療所開設に当り、宮平吉太郎村長の強い要請もあった。昭和三十四年十一月から

昭和三十八年十二月にかけて中山医院(中山貞三医師)が本村字嘉手苅にあったが、その後医療機関が皆無であった本村に昭和四十四年七月に診療所を開設した。当初字嘉手苅一六番地で三ヶ年続き、昭和四十七年七月に字小那覇六三八番地(現在)に移った。野原先生は南風原尋常高等小学校卒業後、青年学校五ヶ年を経て、軍隊生活(昭和十七年から二十一年まで)を送った。(北支中国北部)に一年半、南京に二年半で計四ヶ年である。北支に居る時、運城陸軍医院衛生

学校で四ヶ月間衛生兵としての特訓を受けたのがこの道に入るきっかけとなった。軍隊時代は趣味は囲碁、古典音楽。菊枝夫人(四十九才)との間に二男三女。二人の孫が自慢のタネ。現住所は診療所と同じ。南風原村喜屋武出身で大正十年生まれ。

地域医療に貢献する人

城間内科医院

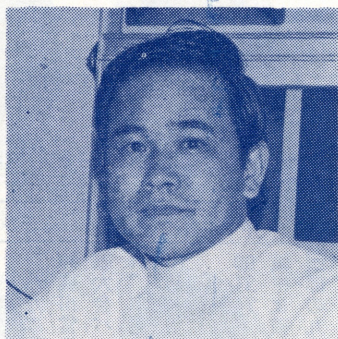
城間まこと

村民待望の近代的医療機関として字翁長二五六番地に昭和五十二年十一月に城間内科神経科医院(城間政州医師)が開設された。

診療科目は内科、神経科、その他一般診療でレントゲン、脳波、心電図、心理テストなどの諸検査ができる。現代医学の要とされる最新式のレントゲンの設置のほか医療機器も整い、地域住民の健康管理、病気の早期発見、早期治療に貢献し、活躍中である。

同医院は西原中学校正門向いにあり、ちょうど本村の中心に位置し、通院に便利である。建物は小じんまりしたモダンなもので、

市民の健康と生活の向上に貢献する人



年、金武の国立琉球精神病院で四ヶ年計二十年の経験豊かなキャリアの持主である。開院以来九ヶ月、患者の大半は腰痛、神経痛など農村型の生活を反映した病気のほか、小児の風邪や腹痛、それに専門の神経科の患者だと云う。心寛手敏(心は落ち着いて、行動は機敏に)が仕事のモットーである。本村への医院開設に当り、本村出身の首里高同期生などから「ぜひ我々に、西原村の地域医療に頑張ってもらいたい。」という強い要望もあった。本村への医院開設を決意して、

「これまでに得た知識や技術をフルに活用して精一杯やって

青年教室開級される教室生募集中

村教育委員会では、七月二十五日午後八時村役場委員会室で青年約二十名を集め昭和五十三年度青年教室の開級式を行なった。

激動する社会の中で疎外と孤独を克服し多くの仲間と共に学び、考えることによって教養を高め広い視野と感覚を育て豊かな青年の生活を盛り上げると云うのがこの教室のねらい。

席上小川教育長はあいさつに立ち、「本村の青年活動の停滞ムードを吹き飛ばして自主的積極的な活動を展開し、青年としての高い教養を積みともに人前で堂々と話していく。」と教室生の奮起を促した。

教室では八月一日から講義を開始し年間四十二単位(二単位一時間の講義)を消化する。学習プログラム内容は、地域に

但し、雇用改善モデル事業助成金については、その実施が今年度後半に予定されており、当りフリットでの案内を省きます。

助成金の申込み

建設雇用改善助成金は、各助成金の種類ごとに定める支給要件に該当する計画を実施した建設事業主等、すなわち建設事業主及び建設事業主の団体、又はその連合団体に支給されます。但し、雇用保険に未加入の建設事業主には、支給されません。

建設雇用改善助成金のお知らせ

建設雇用改善助成金のお知らせ

ご存じのように、建設労働者の雇用の改善、能力の開発及び向上、並びに福祉の増進を図ることを目的とした「建設労働者の雇用の改善等に関する法律」(略称「建設雇用改善法」という。)が、昭和五十一年十月一日に施行されました。

この法律によって、建設事業主の方々に雇用管理責任者の選任、雇入通知書の交付など種々の事項が義務づけられるとともに、建設雇用改善助成金制度がスタートしました。これは、建設事業主等が行う建設労働者の技能の向上及び福祉の増進を図るための措置、例えば技能実習の実施とか、作業員宿舎の整備とかについて、必要な

助成金の種類

- ① 技能実習助成金
 - ② 講習等派遣助成金
 - ③ 雇用管理研修助成金
 - ④ 作業員宿舎整備助成金
 - ⑤ 健康診断助成金
- 以上が、昭和五十二年度まで取扱われてきた5種類の建設雇用改善助成金ですが、今年度からは新たに次の助成金が増え、9種類となりました。
- ⑥ 認定訓練助成金
 - ⑦ 職業訓練派遣助成金
 - ⑧ 現場福利施設整備助成金
 - ⑨ 雇用改善モデル事業助成金

九月の行事

- 3日 村議会議員選挙投票
- 4日 村議会議員選挙開票
- 7日 村体育協会理事会
- 9日 米寿者十二名の記念品贈呈
- 14日 村議会議員当選証書交付
- 22日 学校問題整理促進委員会

村税の納付月一覽表

西原村役場

納期	1期	2期	3期	4期	備考
税の種類					
村・県民税	6月 末日まで	8月 末日まで	10月 末日まで	翌年の 1月 末日まで	
固定資産税	4月 末日まで	7月 末日まで	12月 末日まで	翌年の 2月 末日まで	
国民健康保険税	4月 末日まで	7月 末日まで	10月 末日まで	翌年の 1月 末日まで	1期・2期は仮徴収 3期・4期は本算定 で課税されます。
国民年金保険料	6月 末日まで	9月 末日まで	12月 末日まで	翌年の 3月 末日まで	特別追納未納の方は 早く納付して下さい
軽自動車税	全期4月末日まで				
特別土地保有税	昭和47年4月1日以降、新しく5,000平米(約1,500坪)以上の 土地を取得し引続き所有するものは、毎年5月31日までに村 役場に申告納付しなければいけません。				

※納税は忘れず遅れず期限まで!!

1. 村民税の申告は毎年2月16日から3月15日までとなっています。

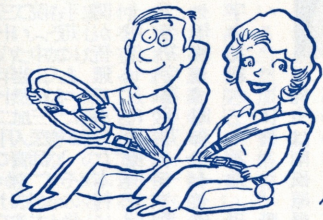
2. 延滞金は、納期限の翌日から納付の日までの期間の日数に応じ年14.6パーセント(納期の翌日から1ヶ月以内は年7.3パーセント)の割合で徴収されます。

シートベルトを着けていないと
時速二〇キロでも死亡事故

衝突事故を起こしても、ハンドルをしっかり握って、腕や脚で体を支えていれば大丈夫――と、なんとなくそう思っている人がいるようですが、これはとんでもない誤りです。

ある自動車メーカーの調査によりますと、シートベルトを着用しているドライバーの死亡事故は、時速九十六キロを超えて初めて発生しています。ところが、シートベルトを着用しないドライバーの死亡事故は、十九・二キロという自転車なみの速度でも起きているのです。

このデータは、衝突したとき



衝突がいかにか大きな物語

仮に、時速二十キロで衝突したらどうなるのか。衝突の瞬間に体重の六〜七倍の力が体にかかる。あなたの体重が六十キロなら、三百六十キロから四百二十キロの衝撃に見舞われるのです。

ところで、人間が支えられるのは、両腕で五十キロ、両足で百キロ程度が限度です。いかにあなたの体が健康だとしても、四百キロの衝撃には耐えられません。耐えられないどころか、シートベルトをつけていなければ、

バスケット男女共準優勝

中頭郡夏季大会

八月二十六日、二十七日の両日
沖繩市営体育館で第六回中頭郡夏季大会バスケットの部が行なわれ、本村は男女とも決勝戦まで進出し、惜しくも準優勝に終わった。

本村の男女は決勝戦でそれぞれ99対74、48対36で嘉手納町、北中城村に破れた。参加チームは、中頭郡の九市町村で強豪勢の中男女とも準優勝に輝いたのは快挙である。それだけ本村のバスケットのレベルアップを示すものと云える。十五年前に女子が二十年前に男子が中部地区大会で優勝したがそれ以来決勝戦に進出してはいない。

男子一回戦	西原 73 3142 2639 63 中城
男子準決勝戦	西原 82 4735 3529 64 北谷
男子決勝戦	嘉手納 99 4059 4034 74 西原
女子一回戦	西原 70 145 石川
女子準決勝戦	西原 57 2433 2915 44 北谷

女子決勝戦
北中城 48 2226 1818 36 西原
なお代表選手は次の通り。

男子(十名)
新垣良文(主将)、新垣良勝、崎原盛幸、安座間喜彦、小波津均、呉屋満、与儀文夫、喜納昌也、仲宗根光夫、中谷修

女子(八名)
伊波田鶴子(主将)、城間つや子、比嘉明美、長嶺律子、安里初美、外間直子、新川喜代美、玉那覇則子

卓球団体戦準優勝

個人戦女子優勝、男子準優勝

八月二十七日午前十時から屋良小学校体育館で中頭郡団体協主催の第六回中頭郡夏季大会が行なわれ、卓球団体戦で準優勝に輝いた。団体戦は一般男子三名、一般女子二名、教員二名計七名で行なうもので本村の代表は、大城守康監督の下に選手八名が出場し、健闘した。

団体決勝戦では嘉手納と当り、惜敗した。

また、個人戦女子では、我謝知子さん(18才)が優勝し、男子

は、村役場勤務の呉屋憲孝さん(25才)が準優勝した。スコアは、いづれも2対1であった。

本村は、毎年のように中頭郡大会では好成績をおさめており、卓球西原の呼び名も定着してきた。また村内の中学校、高等学校では、良い選手が続出し、将来にわたって有望な種目として村民からも注目の的である。

なお代表選手は次の通り。
安里昌廣、呉屋憲孝、呉屋和彦、我謝宗厚、外間久一、城間清勇、山川喜美子、我謝知子、監督大城守康

昭和五十二年度
村勢要覧を刊行

村役場企画課では、このほど昭和五十二年度村勢要覧「西原」を刊行しました。

村勢要覧「西原」は、村行政の現状などを知っていただくために毎年一回発行している村の案内書です。

今回は、表紙を「西原の塔」にしましたが、それは、昭和五十二

年が村戦没者の三十三回忌に当り、永久平和を祈念してのこと。

内容は、村の概観、行政機構、議会、選挙、財政、農業、畜産、生活環境整備、公害防止、環境衛生、国民健康保険、水道、福祉、行政区改編、文教村、学校給食、公共施設めぐり、消防業務、社会教育、各種大会、芸能文化祭、村内めぐり、などの村勢全般の写真集と統計資料で綴ったものです。

青色申告のすすめ

＝北那覇税務署＝

所得税は、納税者が自分で所得や税額を計算して、申告し納税する申告納税制度になっています。

この申告納税制度が円滑に行なわれるためには、自分の所得や、税額を正しく計算して申告すること、申告する者が、一人でも多くなる必要があります。そこで、毎日の取引を帳簿につけ、その帳簿に基づいて正確に所得の申告をする人には、

所得計算の面などで、いろいろ有利な取扱いが受けられることになっています。これを青色申告制度といえます。この青色申告制度は、税金の面で有利になることだけでなく、帳簿を付けることによって経営の内容や資金繰り、在庫などの状況がよく分かり、経営

一、手続
昭和五十四年分から青色申告をしようとする人は、昭和五十四年三月十五日までに「青色申告承認申請書」を税務署に提出して下さい。申請書の用紙は税務署に用意してあります。なお、昭和五十四年一月十六日以後に新しく開業した人の申請期限は、開業の日から二ヶ月以内です。

二、どのような帳簿をつけなければいいか
青色申告をする人は、現金出納帳を中心とした簡易帳簿をつけられればよいことになっています。この簡易帳簿は、現金出納帳、経費帳、売掛帳、買掛帳、固定資産台帳の五冊からなっており、簡単に所得計算ができるようになっています。また、事業の規模が小さいときは、現金出納帳をつけるだけで済みます。

その他詳しいことは、北那覇税務署(電話七七一三二四)お尋ね下さい。

お年寄りの人権を守ろう

人権擁護委員にご相談を...

お年寄りのなかにはもちろん、恵まれた生活を送っている方も少なくありませんが、一方で悲惨な事件が後を断たないことも事実です。

法務局で受理する老人に関する人権侵害事件も、相当数に上っていますが、特に最近、子が年老了を虐待し、かえりみないケイスが目立ちます。

もちろん、お年寄り自身の「かたくなさ」などが、周井との間に摩擦を起こす原因になることも見逃せません。しかし、お年寄りに対しては、まず、家族、地域社会

をはじめとして、私たちひとりひとりの温かい思いやりが必要ではないでしょうか。

人権擁護委員は、お年寄りの人権が侵害された場合などの相談に応じています。

なお本村の次の方々ですので、困ったときは、いつでも気軽に相談下さい。

平良清仁さん(兼久17、電話ナハ局五五一五五五八)、
糸数辰雄さん(翁長一七五一、電話五五一四七二八) 大城静子さん(小橋川46)